

第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」

校区きずな計画
2年目（平成29年度）評価書

社会福祉法人登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会

1. はじめに

- 第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」における校区きずな計画は、8小学校区ごとに重点項目別の評価を毎年度作成することとしています。
- 平成29年度における校区ごとの取り組み状況について、校区きずな推進委員会内で評価を行いました。
- 2及び3に掲げる評価指標に基づき点数化を行い、レーダーチャートとして図式化を行いました。
- 掲載しているきずな推進委員については、平成30年3月31日現在の名簿を記載しています。

2. 総合評価の指標について

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	●校区の実態を確認することができたか 例)住民座談会等で校区の課題などを確認できた。		・
②知る (学ぶ)	●知る・学ぶ機会を設けることができたか 例)住民座談会等で学ぶ機会を設けることができた。		・
③つながる	●関係する団体等とどの程度つながることができたか 例)関係団体と連携して取り組むことができた。		・
④伝える	●どのくらいきずなを伝えることができたか 例)住民等に取り組み内容等を伝えることができた。		・
⑤高める	●地域をよりよくすることにつながったか 例)取り組みを実施して機運の高まりを感じられた。		・

2年目を振り返り、
協議のポイントを評価指標ごとに
箇条書きで記載。

3. 評価点数の内容について

●次のとおり4段階にて評価点数を定めました。

評価点数	内容
1	計画されていたが取り組めなかった
2	一部の取り組みしかできなかった
3	計画どおり取り組むことができた
4	取り組みができ一定の成果があった

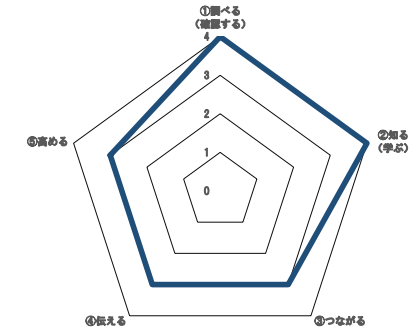
4. 目次

(1) 登別小学校区	3
(2) 幌別東小学校区	8
(3) 幌別小学校区	12
(4) 幌別西小学校区	17
(5) 青葉小学校区	22
(6) 富岸小学校区	27
(7) 若草小学校区	32
(8) 鶯別小学校区	37

登別小学校区

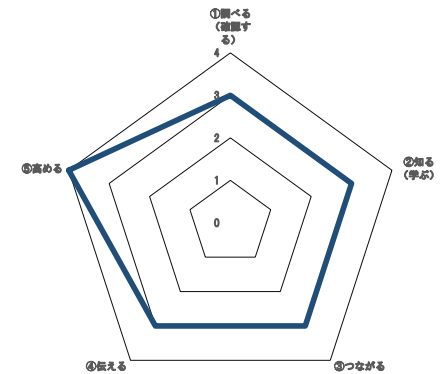
校区活動(校区きずな推進委員会、住民座談会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○年2回の校区推進委員会の開催や、住民座談会の開催により、地域の実情を確認し、今後の活動について検討する機会を設けることができた。	4	○今後も地域の実情を把握し、活動検討に活かすことのできる機会として展開していく。
②知る(学ぶ)	○住民座談会の開催により、地域内で行われている活動や、地域住民が抱える生活課題等について話し合う中で学ぶことができた。	4	○今後も推進委員や地域住民で、校区活動について学び考えていく機会とする。
③つながる	○校区あいさつ一斉運動や見守り運動等の活動を通し、地域のつながりが深まった。 ○住民座談会への地域包括支援センターの参加をはじめ、関係機関とも連携しながら校区活動を推進することができた。	3	○校区活動を通じて、地域のつながりづくりを今後も目指していく。 ○関係機関や専門職と連携を図りながら、校区活動を推進していく。
④伝える	○住民座談会の場できずな活動についての周知を行っているが、参加者以外の地域住民にも広く浸透させていく必要がある。	3	○今後も地域住民と関わる機会等を活かし、丁寧に伝えていく。
⑤高める	○校区推進委員会への参加率が高くない現状だが、校区の福祉活動について熱心な話し合いを行うことができ、前進につながった。	3	○校区推進委員内での意思疎通を図りながら、より良い校区活動の推進を目指し今後も検討を重ねていく。



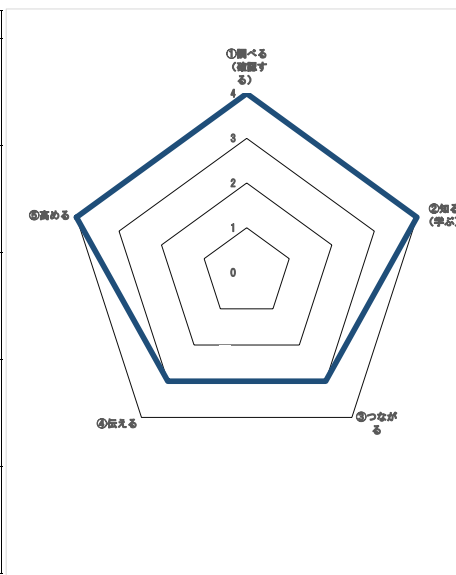
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○小地域ネットワーク活動は校区内13単位町内会で取り生まれ、実施率も72.2%まで上がっている。	3	○校区内全町内会の普及に向け、PRしていく必要がある。
②知る(学ぶ)	○住民座談会や民生委員・児童委員の会合等で、取り組みについて知ってもらう機会を設けることができた。	3	○今後も住民や関係機関に広く知ってもらうよう、取り組んでいく。
③つながる	○キットの配布にあたっては、町内会のみならず、民生委員・児童委員とも連携を図りながら行うことができた。	3	○小地域ネットワーク活動を通じて、関係機関や団体とのつながり強化を図っていく。
④伝える	○住民座談会や民生委員・児童委員の会合等で、取り組み内容や日頃からの備えの必要性を伝えることができた。	3	○継続して取り組みの必要性を広く伝えていく。
⑤高める	○小地域ネットワーク活動の推進により、日頃からの備えや見守り体制の強化を図ることができた。	4	○今後も継続して行っていく。



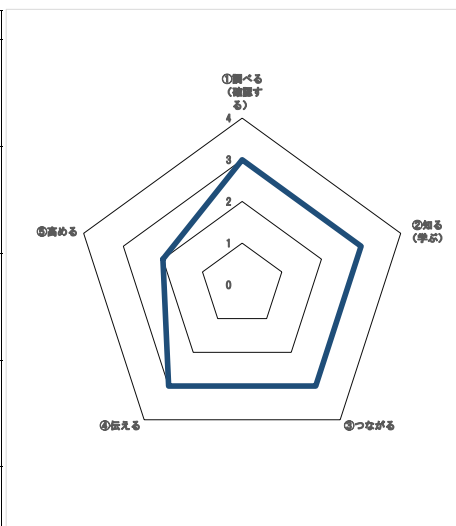
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○ふれあいいきいきサロンとして登録している箇所数は減少するも、活動自体は存続しており、安定した活動が行われている。会食会は13単位町内会(実施率約72%)で実施することができた。	4	○今後も今ある活動を継続しつつ、より実施を広げていくことを目指す。
②知る (学ぶ)	○サロンや会食会の実施により、地域の中に交流が生まれ、実情を把握することにつながった。	4	○地域に必要な場として今後も推進していく。
③つながる	○地域包括支援センターの職員にも参加してもらうことで、関係機関との関わりを深めることができた。	3	○関係機関や団体にも協力をもらい、つながりをつくりながらより良い活動の展開を目指していく。
④伝える	○会食会時に共同募金配分金による助成の周知を依頼しており、座談会でもサロンや会食会について紹介することができた。	3	○地域住民に広く知ってもらうよう、今後も町内会に協力をもらいPRを図る。
⑤高める	○サロンも会食会も地域における貴重な居場所、ふれあいの機会として定着しており、必要な場となっている。	4	○今後も継続して活動を推進していく。



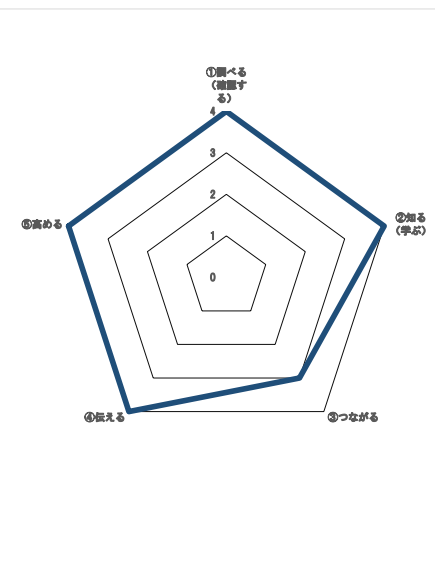
生活環境の整備(空き家の有効活用、除雪やゴミ出し等ちょっとしたことの支援)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○鍵預かりサービスを行うことができた。(利用者4名、事業協力員52名) ○校区計画に定める空き家の活用や、ちょっとした生活支援については未実施だが、校区推進委員会では実施に向け熱心な意見交換が行えた。	3	○鍵預かりサービスについては継続して行っていく。 ○登別地区の実情に合った生活環境整備の仕組みを考えながら、校区推進委員会等を通し検討を重ねていく。
②知る (学ぶ)	○未実施ではあるが、ちょっとした生活支援について、校区推進委員会や座談会の場で意見を深めることができた。	3	○今後も実現に向け、住民の意見も踏まえながら検討していく。
③つながる	○鍵預かりサービスにより、校区内の施設とのつながりが生まれている。	3	○今後も関係機関と連携しながら、事業を進めていく。
④伝える	○座談会の中で鍵預かりサービスの紹介ができ、他校区の生活支援事業についても伝えることができた。	3	○校区の生活環境整備の必要性を広く地域に伝え、共に考えていく必要がある。
⑤高める	○鍵預かりサービスの実施により、地域間の関係性づくりや、安全の担保につながった。	2	○地域をより良くする活動として、鍵預かりサービスは今後も継続して行い、その生活環境整備の取り組みについても検討を図っていく必要がある。



人材育成(お茶の間会議の実施)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○お茶の間会議の開催により、中学生との意見交換や想いの共有を図ることができた。	4	○学校とも連携しながら、今後も行っていく。
②知る (学ぶ)	○地域の実情や福祉活動について、いっしょに学ぶ機会となった。	4	○今後も地域や福祉について、同じ地域の住民として学び考えることのできる機会とする。
③つながる	○中学校関係者とつながりを持ちながら、お茶の間会議を実施することができた。	3	○学校と連携しながら今後も行っていく。必要に応じ、その他の関係機関、団体等との連携も図っていく。
④伝える	○お茶の間会議の中で、中学生に校区活動について伝えることができた。	4	○若い世代にきずな活動や校区の福祉活動を伝える機会として実施していく。
⑤高める	○世代を超えた交流により、中学生にも地域や福祉について身近に感じ、考えてもらう機会となった。	4	○世代を超えて地域住民が関わることのできる貴重な機会として、今後も実施していく。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田畑 恒義	きずな推進委員	吉岡 政美	きずな推進委員	飯島 武
サブリーダー	桶屋 純一	きずな推進委員	成田 光男	きずな推進委員	山口富智子
サブリーダー	伊藤 芳雄	きずな推進委員	田代 健二	きずな推進委員	柳瀬 雅俊
きずな推進委員	日野 安信	きずな推進委員	勝間 広靖	きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	中川 信市	きずな推進委員	須賀 武郎	きずな推進委員	太田 憲明
きずな推進委員	畠山 基子				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
6月9日	第1回登別小学校校区きずな推進委員会	8名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
12月12日	第2回登別小学校校区きずな推進委員会	8名	住民座談会の開催について
2月20日	登別小学校校区住民座談会	34名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「生活の不便の解消に向けて」
3月19日	お茶の間会議in登別中学校	54名	授業体験 給食 ワークショップ「のぼりべつのために、私・私たちにはこんなことができる!!」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

登別温泉地区連合町内会	登別東町2町会	登別東町第5町会
中登別町内会	登別東町第三町会	登別本町会
登別東町一町会	登別東町第4町会	登別本町2町会

実施率 72.2% (13 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

みどり会
登別東町第三町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園

ふれあい会食会

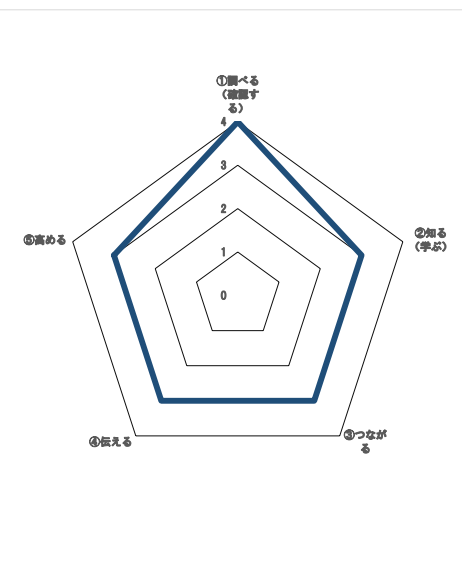
登別温泉地区連合町内会	登別東町2町会	登別東町第五町会
中登別町内会	登別東町第三町会	登別本町会
登別東町一町会	登別東町第4町会	登別本町2町会

実施率 72.2% (13 / 18)

幌別東小学校区

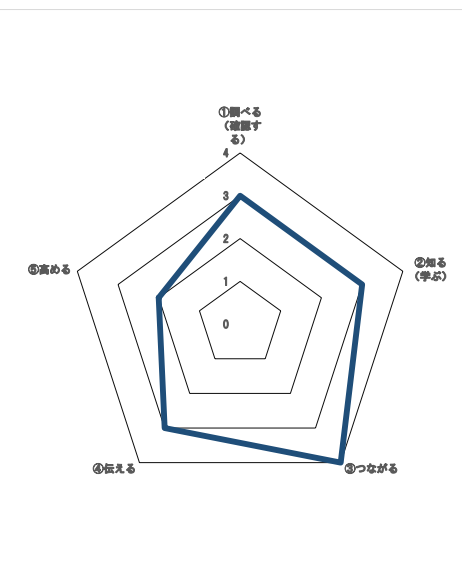
校区活動(きずな推進委員会、住民福祉座談会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	必要に応じて開催することができた。	4	継続して実施する。
②知る(学ぶ)	住民福祉座談会等により、校区内の活動を知る機会を設けた。	3	住民福祉座談会の継続的な開催により、状況等を知る機会を設ける。
③つながる	住民福祉座談会において、消費者協会に講話いただいたりと、きずなを媒体としてつながりをつくることができた。	3	構築されたつながりを活用し、地域内での課題や問題の予防を図る。
④伝える	関係する団体等のきずなに対する理解は浸透している。	3	継続して実施する。
⑤高める	校区推進委員会及び住民福祉座談会の開催により、きずなの機運を高めることができた。	3	継続して実施する。



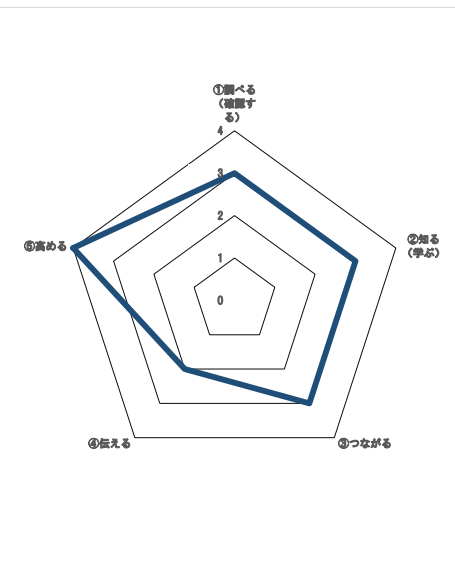
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動、防災・防犯活動の推進)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	キットの配布を通じて地域の状況を確認することができた。	3	キットの配布を継続して行いながら、更新や訪問等で逐次地域の状況を確認する。
②知る(学ぶ)	住民福祉座談会において、詐欺等の消費被害の啓発を行った。	3	各種取り組みを通じた周知を継続して行う。
③つながる	避難訓練を毎年継続して行っていることや緊急連絡網の整備等により、地域内のつながりも生まれている。地域包括支援センターや登別消費者協会等とも各種取り組みを通じてつながりを持つことができた。	4	つながりを強化し、いざという時の対応につなげる。
④伝える	キットの配布や避難訓練等の取り組みにより、自助の必要性を伝えている。	3	継続して実施する。
⑤高める	各種取り組みにより、地域の福祉意識向上に寄与することができた。	2	キット配付後のフォローアップを強化する。



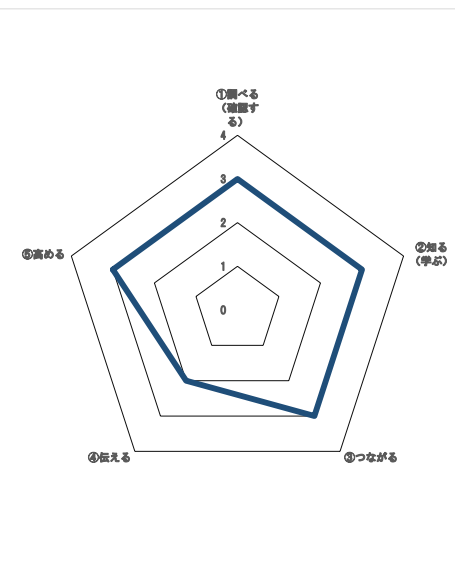
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ゆめみ〜との連携)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	居場所づくりの活動は各单位町内会単位で行われており、地域の状況を確認している。	3	継続して実施する。
②知る(学ぶ)	地域の居場所として、ゆめみ〜の周知を図ることができている。	3	継続して実施する。
③つながる	ゆめみ〜の朝市や鉄南フェスティバルにより、地域内のつながりづくりに寄与できている。	3	継続して実施する。
④伝える	安定した活動を行うことはできたが、活動においてきずなを伝えるにはいたらなかった。	2	集まりの機会等できずなの大切さ、日ごろから集うことの大切さ等を伝えていく。
⑤高める	ゆめみ〜を拠点にした日常生活支援(朝市や行事の送迎、出前販売など)により地域福祉に貢献している。	4	継続して実施する。



地域交流の促進(生きがいと世代間交流の促進)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	小学校との定期的な交流により、子どもたちの状況の確認を行った。	3	継続して実施する。
②知る(学ぶ)	行事や小学校との交流により、お互いの考え方を知る機会を設けた。	3	継続して実施する。
③つながる	小学校はもとより、関係機関団体等との連携を深めた。	3	継続して実施する。
④伝える	交流を行う中で、あらためてきずなの大切さを伝える機会を設けてはなかった。	2	きずなの大切さを伝えつつ継続して実施する。
⑤高める	地域の生きがいづくり等に寄与することができた。	3	継続して実施する。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	森 芳昭	きずな推進委員	對馬 敬子
サブリーダー	田淵 利男	きずな推進委員	竹中 洋子
サブリーダー	鳴海 文昭	きずな推進委員	杉尾 直樹
きずな推進委員	松原 憲康	きずな推進委員	渡辺 麗子

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月11日	幌別東小学校区住民福祉座談会	59名	幌別鉄南地区の小地域ネットワーク活動の進捗状況について 地域拠点丸ごと支え合い事業の進捗状況について 座談会「幌別鉄南地区の福祉について」 講話等「あなたの大切な『お金』が狙われている!!」 昼食会(地区連婦人部による炊き出し)

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

すずらん団地町内会	幌別第3町内会	幌別鉄南第7町内会
幌別第一町内会	幌別鉄南第5町内会	幌別鉄南第8町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第6町内会	

実施率 100.0% (8 / 8)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

いきいきサロンてつなん
いきいきサロンききょう
いきいきサロン一刻者

ふれあい会食会

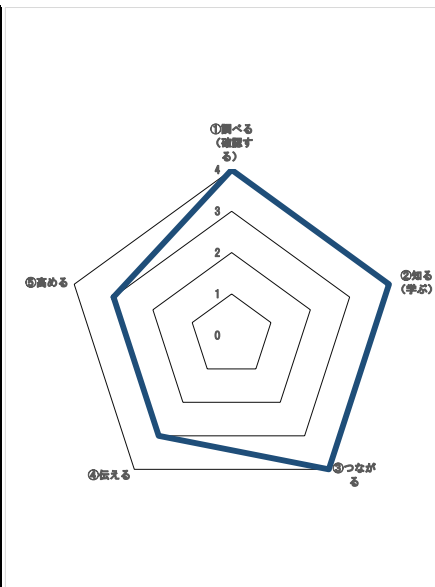
すずらん団地町内会	幌別鉄南第5町内会
幌別第二町内会	幌別鉄南第7町内会
幌別第3町内会	幌別鉄南第8町内会

実施率 75.0% (6 / 8)

幌別小学校区

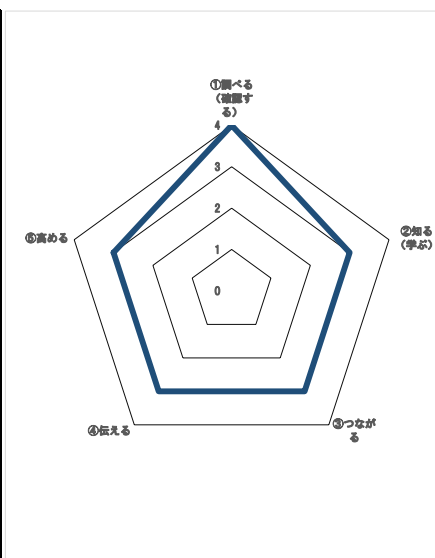
校区活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	定期的な校区きずな推進委員会の開催により、校区内の状況の確認を行った。もう少し踏み込んだ内容でもよかったのではないだろうか。	4	最低年2回の校区きずな推進委員会の開催を継続する。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会や住民座談会において、国や市内の動向を知る機会を設けた。学ぶ座談会であったように感じる。	4	最新の動向を学ぶことができるようテーマを設定する。
③つながる	住民座談会にて、普段顔を合わせる機会の少ない方同士での意見交換を通じて、つながる機会を設けた。防災対策や健康づくりについて意見交換を行うことができた。	4	つながりづくりとあわせて、そのつながりを深められる取り組みを行う。
④伝える	住民座談会にて、きずなの取り組みを伝えることができた。しかし、現状校区内にきずなが十分に浸透しているとはいえない。	3	伝えることと浸透することは別物であり、浸透するための取り組みを進めていく必要がある。
⑤高める	校区きずな推進委員会や住民座談会により、きずな活動に対する機運を高める取り組みを図った。しかし、十分な高まりを見せているとはいえない。	3	まずはきずなが浸透するように取り組みを進める。



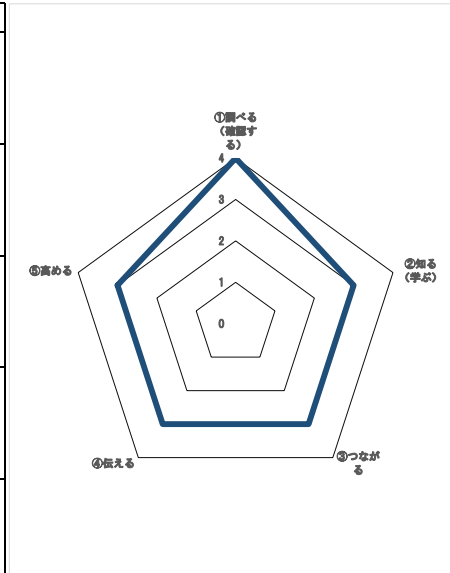
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動を通じて、地域の状況を確認することができた。	4	民生委員・児童委員とも連携を図りながら、よりきめ細かい地域の状況確認を行う。
②知る (学ぶ)	住民座談会や各種会議等において進捗状況や事業説明を行った。	3	必要に応じて地区連合町内会会議や地区民生委員児童委員協議会会議等での情報提供を行う。人・しくみづくりを重要視する。
③つながる	小地域ネットワーク活動により、平時からのつながりづくりの基盤を整備した。町内会をはじめ、地域の役員が心をひとつにして見守りを強化していくことが解決を見出すのではないだろうか。	3	町内会と地域住民だけのつながりのみならず、民生委員・児童委員や他機関等とのつながりも進めていく。
④伝える	各種会議等において取り組みの重要性は伝えているが、新たな取り組みまではいたらなかった。役員だけが理解するのでは不十分。	3	取り組みの重要性は認識されているとの認識の下、実際に取り組みやすい仕組み等を伝えていき、実際の活動につなげる。
⑤高める	現在校区内9町内会で取り組まれており、実施率は5割である。	3	校区内全町内会の実施を目標に、様々なアプローチで進めていく。



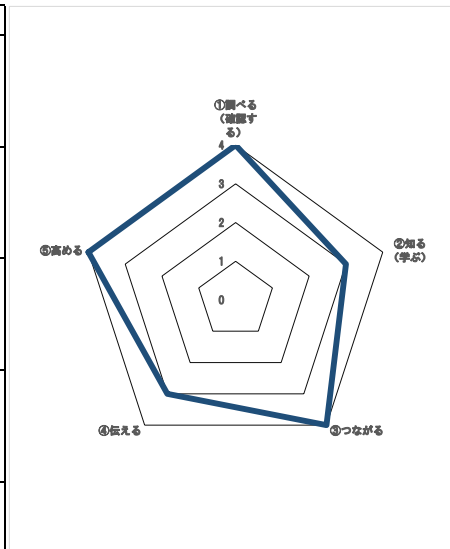
居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	サロン活動を通じて、地域住民の安否確認等を行った。	4	継続して、地域住民のつながりや状況確認等を行う機会として推進する。
②知る (学ぶ)	住民座談会や各種会議等において進捗状況や事業説明を行った。	3	事務局からの説明の機会だけではなく、活動者同士が互いの取り組みを知りあう機会を設ける。
③つながる	サロン活動において、地域住民同士及び関係機関等とのつながりづくりを行った。	3	サロン間やサロンとその他関係者がつながる機会を設ける。
④伝える	サロン活動において、きずなについて伝える取り組みは行われているが、各サロンによって温度差が生じている。	3	サロン開催が情報発信の機会になることも踏まえ、各サロンが同じ認識に立って周知等が行えるよう働きかけが必要。 日頃から積極的にサロンの重要性を第三者に伝える活動が必要。
⑤高める	現在4か所にて実施。 サロン活動は個々で取り組まれているが、校区内において互いに高めあう取り組みまではいたっていない状況。	3	それぞれで頑張っている取り組みがつながり合い、支え合い、高め合うことができるよう、まずは情報交換会の実施に向けて動きたい。



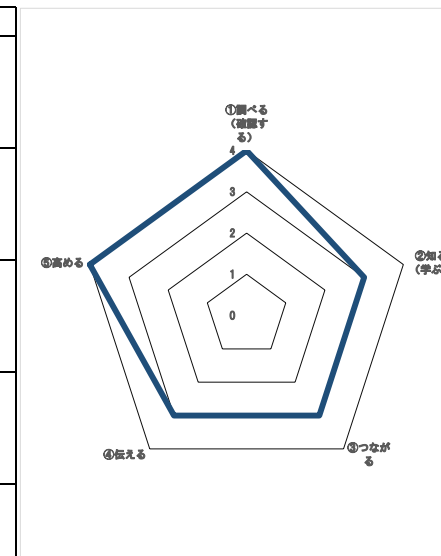
高齢者・障がい者等の声かけ見守り(向こう三軒両隣)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	日頃からの取り組みにおいて、声かけ等は自然と行っており、地域の状況を確認するきっかけとして機能している。	4	向こう三軒両隣を合言葉に、継続して実施する。 丸ごと事業の校区拡大を広く周知する。
②知る (学ぶ)	個々で活動は実践しているが、それらを確認・知り合う機会を設けることはできなかった。	3	校区内の実践者同士の情報交換会を実現する。
③つながる	専門機関とのつながりは持っているものの、実践者同士でのつながりを密にすることが必要である。	4	校区内の実践者同士の情報交換会を実現する。
④伝える	実践者内での活動の重要性は伝わっているものの、見守られる側にも必要性を広めていく必要がある。	3	まずは情報交換会により実情を確認し、効果的なアプローチについて検討する。
⑤高める	地域のより強固なきずなづくりに寄与している。	4	従来の活動を着実に継続して実施する。



防犯・防災活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	登下校パトロール等により、地域の状況を確認することができた。	4	継続して行うとともに、情報共有の場を設定する。
②知る (学ぶ)	活動そのものがPRの1つにもなっている。	3	活動者のみならず外部へも活動への想い等を知ってもらう機会を検討する。
③つながる	学校も含めた地域内のつながりは持っている。	3	関係機関等との連携強化を図る。
④伝える	改めて防犯・防災の重要性を伝える機会を設けていないが、活動を通じて伝えられている。	3	活動者のみならず外部へも活動への想い等を知ってもらう機会を検討する。
⑤高める	安定的な活動を行うことができ、地域の防犯・防災意識の向上に寄与することができた。	4	継続するとともに、適宜必要と思われる取り組みについて検討する。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	畑山 功一	きずな推進委員	伊清 淳彦	きずな推進委員	脇 俊昭
サブリーダー	畠山 重信	きずな推進委員	前野充紀子	校区きずな推進委員	及川 富夫
サブリーダー	竹中 脩巖	きずな推進委員	森 正信	校区きずな推進委員	武藤 紀康
サブリーダー	山崎 敏男	きずな推進委員	八島 年勝	校区きずな推進委員	今 平人
きずな推進委員	千葉 一男				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
5月24日	第1回幌別小学校校区きずな推進委員会	10名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
1月12日	幌別小学校校区きずなりーダー・サブリーダー会議	5名	住民座談会の内容について
1月25日	第2回幌別小学校校区きずな推進委員会	8名	住民座談会の内容について
2月22日	幌別小学校区住民座談会	32名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「ひとり暮らしの方を支えるために必要なこと」
3月30日	第3回幌別小学校校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の振り返りについて 今年度の校区きずな活動の評価について 次年度の校区きずな活動の内容について

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

新栄町内会	南千歳町内会	中央町十字街町内会
千歳町内会	常盤町内会	中央新生町内会
緑ヶ丘町内会	中央町駅前町内会	中央町内会

実施率 50.0% (9 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

ゲンキアップニナルカ	中央東町内会いきいきサロン
いきいきサロン南千歳	常盤ラポール・サロン
われら、いきいき探偵団	

ふれあい会食会

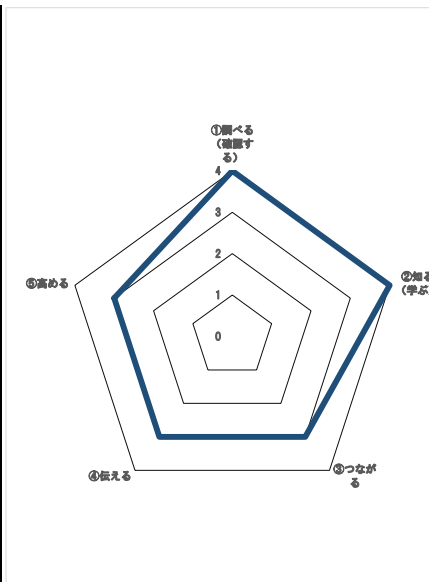
千歳町内会	南千歳町内会	中央町内会
ニナルカ町内会	常盤町内会	中央東町内会
緑ヶ丘町内会	中央町十字街町内会	

実施率 44.4% (8 / 18)

幌別西小学校区

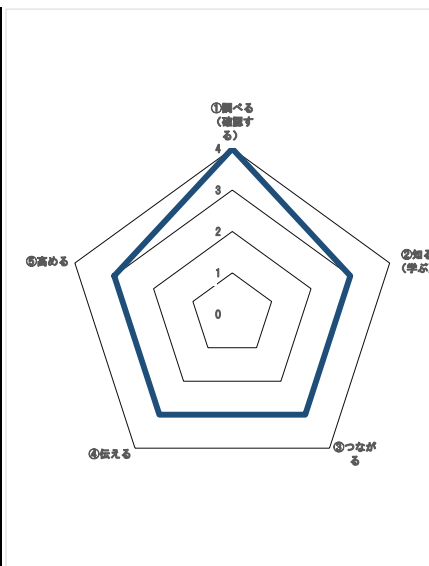
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	「高齢者の見守りをするために必要なこと」をテーマに住民座談会を開催し、各地区の現状や取り組み内容等について確認することが出来た。また、43名の出席と昨年度よりも多く、意識が高まっていると感じた。	4	継続して、各種会議等を開催する。また、住民座談会とは別に研修機会等を設けることも検討する。
②知る(学ぶ)	住民座談会を開催し各地区の見守り状況や他町内会の活動について知る機会を設けた。	4	住民座談会を通して地域の実情把握を行う。
③つながる	住民座談会及びきずな推進委員会を通して、各町内会や民生委員とのつながる機会を設けた。	3	今後も各関係機関(専門職等)に住民座談会への参加を促す。
④伝える	昨年度より、新たな推進委員が加わったことで、各単位町内会に対してきずなへの理解を促すきっかけ作りとなった。	3	新たな推進委員も含め、各地区の状況確認及びきずなの普及を進める。
⑤高める	住民座談会の開催等もあり、一定以上の取り組みは出来た。	3	推進委員会内において各地区の状況確認を行いながら、地域ニーズを明らかにしていく。



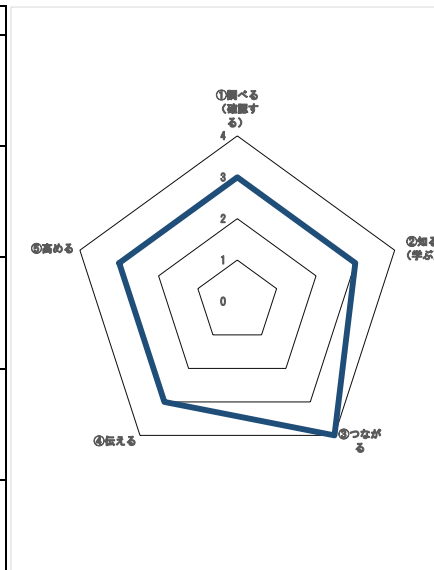
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	依然として、台帳の配布及び周知は全市の割合からみても高い実施率である。(校区内76.9%、全市73.9%)	4	校区内町内会への改めての周知、開拓を進める。
②知る(学ぶ)	住民座談会で各地区との意見交換を行い、取り組み状況や現状を確認した。	3	継続して行う。
③つながる	各地域での差はあるが、推進委員の増加及び住民座談会の開催により、最低限の周知活動等は出来た。	3	継続して行う。
④伝える	昨年度より推進委員が加わったことで、本活動が各地区へ伝わる経路を作ることができた。	3	継続して行う。
⑤高める	新たな推進委員との連携を強化し、継続して町内会活動や民生委員との繋がりを高めていく。	3	継続して行う。



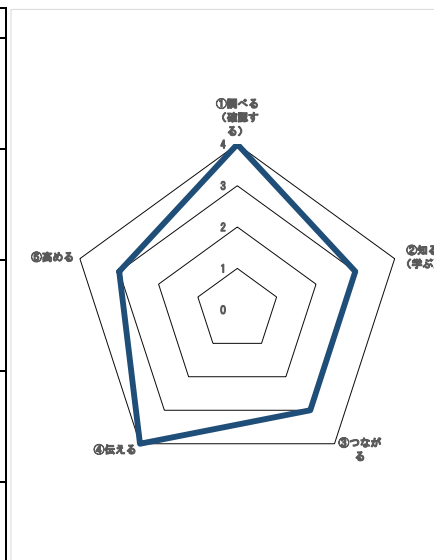
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロンの推進)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	既存サロンの活動は定期的に行われている。	3	継続して行う。
②知る (学ぶ)	サロン活動等を行うことで、独居高齢者や日頃関りの少ない方との接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	民生委員や専門職にも参加してもらうことで、地域住民との関わりを深めることが出来た。	4	引き続き、専門職にも協力をもらえるよう働きかける。
④伝える	日頃の福祉活動がきずな活動でもあるが、普及及び浸透としては不十分である。	3	各者の活動がきずなとしての活動でもあることを携わる方々に理解してもらう必要がある。
⑤高める	支援者、利用者ともに地域の居場所としての機能している。	3	継続して行う。



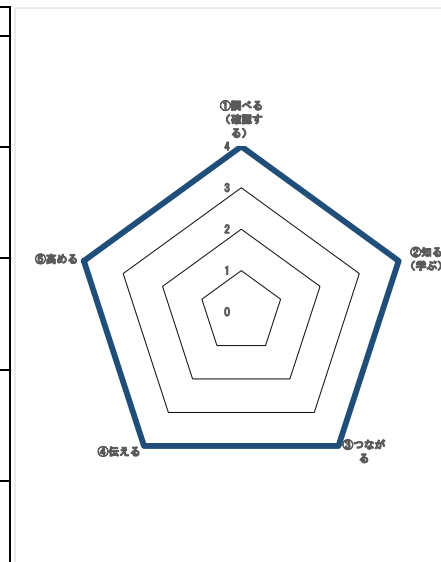
世代間交流(子育て支援、世代間交流活動の連携・情報共有)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	各地区ごとに季節行事や年齢層に合わせた行事等を行い、若い世代との関わりを持つことも出来た。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	子育てサロン等において、若い世代との交流や接点を持つことが出来た。	3	継続して行う。
③つながる	子育てサロンや各町会行事に参加することで、各世代との接点づくりを行えた。	3	さらに町会行事等への参加や子育てサロンへの支援・協力を進めていく。
④伝える	住民座談会の参加状況や推進委員会の増加もあり、密に活動出来ていると考える。	4	継続して行う。
⑤高める	委員が世代交流の場に参加し、きずなを知るためのきっかけ作りは行えたのではないか。	3	継続して行うとともに、対象者の意見等を集約できるような場を検討する。



防犯・防災活動(避難訓練の実施や緊急時の連絡体制の整備)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	避難訓練及び住民座談会において、他地区の防災意識や取り組み状況について確認出来た。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	地区ごとではあるが、各施設や老人クラブ等の防災訓練を行い、知識及び意識向上に繋がった。	4	継続して行う。
③つながる	住民座談会や避難訓練時等を行い、意見交換や他地区との連携を図ることが出来た。	4	昨年度同様、学校や専門機関等も含めて、広域な人たちとも関わりを持ちたい。
④伝える	住民座談会等を通して、各地区での取り組みを知る機会となり、推進委員が加わることでより活動内容の浸透を図ることが出来た。	4	継続して行う。
⑤高める	地域の高齢者等だけでなく、児童も取り組めるよう各地区での周知に努めた。	4	継続して行う。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	島田 幸一	きずな推進委員	宮地 真治	きずな推進委員	村井 寿行
サブリーダー	鈴木 尚美	きずな推進委員	工藤 章造	きずな推進委員	中田 咲江
サブリーダー	石山 典子	きずな推進委員	岡田 敏治	きずな推進委員	木村 俊子
きずな推進委員	三浦 忠夫	きずな推進委員	小沢裕美子	きずな推進委員	細川 重雄
きずな推進委員	太田 通	きずな推進委員	内山 雅義	きずな推進委員	楠本 賢一
きずな推進委員	伊藤 信一				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
5月22日	第1回幌別西小学校区きずな推進委員会	9名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
1月17日	第2回幌別西小学校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の内容について
2月18日	幌別西小学校区住民座談会	43名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「高齢者の見守りをするために必要なこと」
3月28日	第3回幌別西小学校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の振り返りについて 今年度の校区きずな活動の評価について 次年度の校区きずな活動の内容について

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

柏木町内会	山手町内会	望洋団地町内会
柏木団地町内会	新川町内会	片倉町内会
プレハブ町内会	香風町会	西団地町内会
新和会		

実施率 76.9% (10 / 13)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

サロン皆の衆	ふれあいサロン
風と共に歩こう会	なのはな会
香風町会ふれあいサロン	

ふれあい会食会

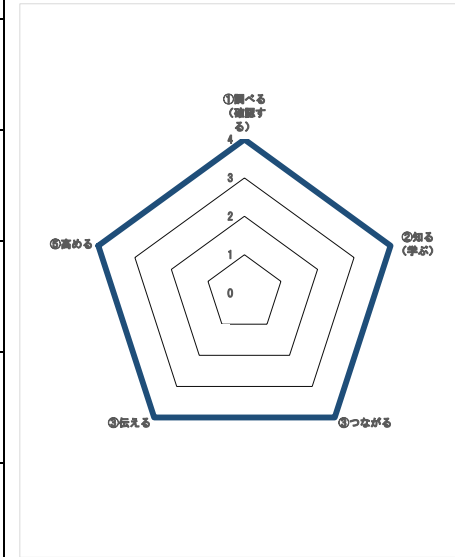
柏木町内会	新川第二町内会	片倉町内会
柏木団地町内会	香風町会	西団地町内会
新和会	望洋団地町内会	

実施率 69.2% (9 / 13)

青葉小学校区

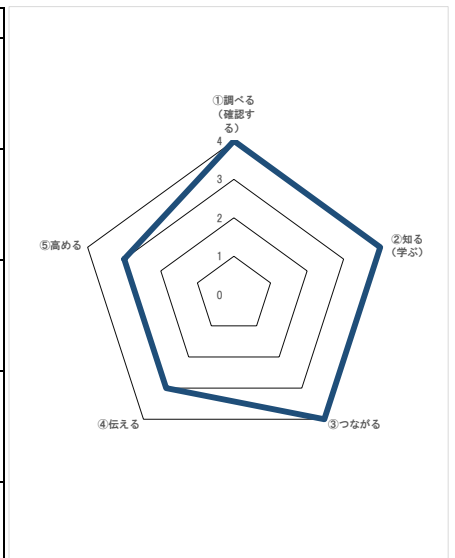
校区活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	・各町内会ごとの推進状況や取り組み等を把握しながら地域間の情報を実践活動に活かしている。現在、小地域ネットワーク活動は、11町内会中8町内会が実施、また、独自で1町内会実施している状況にある。実施率は、72.7% ・平成29年度社協主催の小地域ネットワーク活動連絡会で若山団地町内会の活動実践発表を行い、周知をしたところである。 ・校区推進委員会の会議を2回開催、更に、地区連役員会で活動報告をし周知した。	4	・引き続き実施したい。
②知る (学ぶ)	・住民座談会(校区推進委員会・青葉地区連共催)を2月17日開催した。 今回は、きずな全市計画の状況の報告とワークショップでは、テーマ「災害から考える効的な福祉活動の展開」を昨年9月の台風から町内会長・推進委員・民協委員等の参加で意見交換を図ることができた。	4	・引き続き実施したい。
③つながる	・本校区推進委員会は、地区連福祉部を兼ねた組織体制で行っている為、校区内の各町内会の福祉部とつながっている。また、地区連役員会においてもきずな計画の推進状況等を報告し、各町内会長に理解と協力を求めた。	4	・老人クラブなど高齢者や介護施設等との関わり方を具体的な意見交換を行い、福祉活動を共有する機会を持つ必要があると考える。 ・従来からの諸団体とは継続的に関わる。(緑陽地区民児協、三地区育成会、等)
③伝える	・校区推進委員会や住民座談会を通してきずな計画(全市・校区)について進捗状況を知り、校区内の町内会役員等にきずな計画を伝えることができた。	4	・組織的な役員と地域の一人ひとりの関わりや活動等の展開を考える必要があると考える。
⑤高める	・住民座談会や推進委員会を通し、情報交換することで、日々の福祉活動に対する意識を高める場となっている為、会議を行う役割は大きい。	4	・引き続き実施したい。



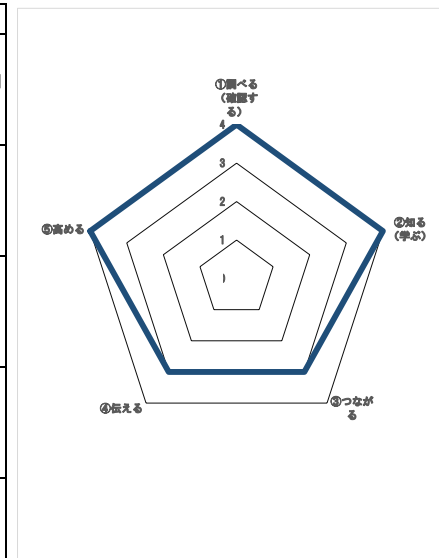
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	・現在、11町内会中8町内会が実施。・・・1町内会増 また、独自の活動で1町内会実施。 ・実施率は、校区内で72.7%である。	4	・小地域ネットワーク活動の実施町内会100%を目指す取り組みを図る。更に、地区連で平成30年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	・校区推進委員会や住民座談会等で小地域についての説明する場を設けた。	4	・引き続き実施したい。
③つながる	・本校区は、地区連福祉部が校区推進委員会と兼ねており、現状及び状況把握や連携が図りやすい。 ・その他の諸団体とのつながりも重視しながらできるだけ共有してきた。	4	・従来からの諸団体とは継続的に関わり、高齢者や介護施設等との関わり方を具体的に検討する必要がある。
④伝える	・小地域ネットワーク活動でも特に「安心キッド」の普及までは取り組まれているが、そこからの展開がまだまだのようだ。	3	・引き続き実施したい。
⑤高める	・小地域ネットワーク活動を中心に各種事業や行事等で説明した他、子育て中の家族や高齢者を対象としても行った結果、「きずな」の実践が校区全体に広がっている。	3	・小地域ネットワーク活動の全地域(町内会)導入を早期に目指すことを考える必要がある。 ・地域ごとで連携の取れた継続的な活動を行なう必要がある。



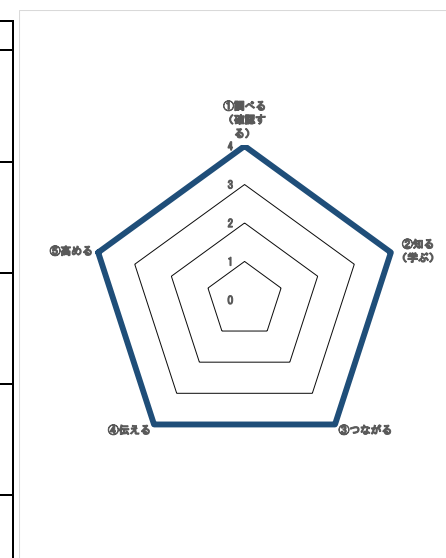
居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	・既存のサロン活動は定期的に行われている。 ・実施状況: サロン活動 6団体、ふれあい会食会 6町内(+1)	4	・サロン活動や町内会の会食会の団体を増やす取組を推進しながら、既設団体の引き続き実施を推進する。
②知る (学ぶ)	・サロン活動や会食会等を通して、独居高齢者などとの関わりができた。	4	・引き続き実施を推進する。
③つながる	・サロンサポーター連絡会等の会議に出席し、他地区で行われている状況を把握しつつ、情報交換を通して市内のサロンサポーターや関係機関と繋がることになった。	3	・次年度も様々な情報を得られるよう連絡会等に参加したい。
④伝える	・サロン活動や会食会等で「きずな」について話をする機会を設けているが、その受け止めは定量的には把握できないが、参加者には浸透してきているものとする。	3	・引き続き実施を推進する。
⑤高める	・サロンについては、地域の居場所として機能している。また、会食会を開催することで地域で見守りが必要な人を把握することができた。	4	・引き続き実施を推進する。



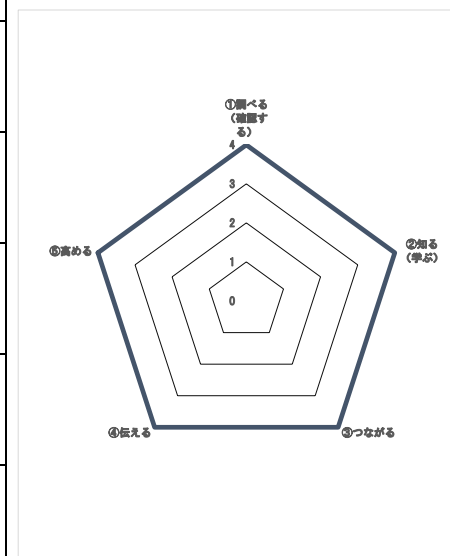
子育て及び高齢者福祉対策の推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	・今年度は、特に、子供見守り活動として登下校時の声掛けや交通安全の啓発を中心に実施することができた。また、青バト車との連携も回りながら大きな活動の成果となったと考える。	4	・長年の事業として諸団体との連携で引き続き実施を推進する。 ・更に、地区連で平成30年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	・三地区育成会を通して、不審者情報や交通安全に関する情報を入手でき、更に、防犯活動にも運動させることができたとする。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について把握していく。
③つながる	・三地区育成会(青葉小・富岸小・緑中)と連携を回りながら行なった。 ・また、その他団体として「おやじの会」「子ども見守り隊」など、更に、つながりのある活動になったと考える。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について把握していく。
④伝える	・活動そのものがきずなの実践として定着している活動である。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について把握していく。
⑤高める	・見守りパトロールを行うことで、防犯はもちろんのこと、児童や地域住民への見守りにも繋がっている。	4	・引き続き実施を推進する。 ・更には、高齢者への取組について把握していく。



青葉小学校区／防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり・・・防災避難訓練の実施

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	・今年度は、三地区育成会との合同津波避難訓練の実施ができ、学校側との共通認識が醸成できたことが大きな取組となった。 ・単位町内会の実施については、自主性に任せられたものとなっているが、実施した町内会も1, 2あり地区連として合同の訓練ができたことが成果である。	4	・引き続き実施を推進する。
②知る (学ぶ)	・地区連に独自の「自主防災連絡協議会」があり、会議の中で情報を共有できたと考ええる。特に、合同避難訓練の実施要領が綿密に図れたと考える。 ・今年度は、避難経路表示看板の設置計画が具体化したので、今後の行政の対応をみていく。 ・避難訓練の実施において、避難ルートに一部問題があったことがわかった。	4	・引き続き実施を推進する。
③つながる	・主体的には、「自主防災連絡協議会」をもって、各町内会との連携を図ることとしており、十分に繋がることができたと考える。 ・今年度は、三地区育成会との合同訓練が初めて実施することが出来たことが、大きな成果と考える。	4	・引き続き実施を推進する。
④伝える	・「自主防災連絡協議会」において、各町内会長・防災協力員に第3期きずな計画を確認しながら、日常における地域意識を高揚できたものと考ええる。	4	・引き続き実施を推進する。
⑤高める	・昨年の反省を受けて、防災避難訓練の地区連として統一的な訓練を実践できたことが成果とできる。更に、展開できるものと考ええる。	4	・引き続き実施を推進する。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田渕 純勝	校区きずな推進委員	北原 勲
サブリーダー	糸井 孝子	校区きずな推進委員	津川 正博
サブリーダー	近藤トシ子	校区きずな推進委員	川村 憲子
きずな推進委員	吉田 伸吾	校区きずな推進委員	小笠原茂雄
きずな推進委員	亀山 聖	校区きずな推進委員	遠藤 正一
校区きずな推進委員	堀尾 政江	校区きずな推進委員	垣内 博

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
7月7日	第1回青葉小学校区きずな推進委員会	9名	事業報告 小地域ネットワーク活動について 平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について など
1月26日	第2回青葉小学校区きずな推進委員会	10名	事業報告 住民座談会の内容について
2月17日	青葉小学校区住民座談会	23名	「きずな」とは "助け合い"が必要な背景(高齢者編) "のぼりべつ"の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「災害から考える効果的な福祉活動の展開」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動）

来福町内会	緑町団地町内会	若山団地町内会
西川上町内会	若緑町内会	市営住宅桜木自治会
新登津町内会	あかしや町内会	

実施率 72.7% (8 / 11)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会）

ふれあい・いきいきサロン

いきいきサロン桜木	いきいきサロン結
いきいき・ふれあいサロン「アソイワ」	わかやまサロン
カラオケクラブ「シロクマ会」	若山団地サロン

ふれあい会食会

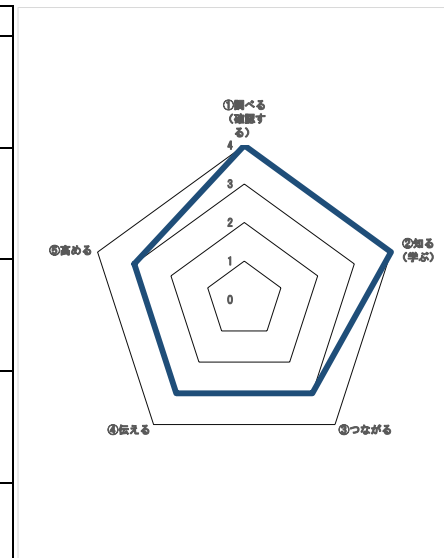
来福町内会	新登津町内会
桜木団地町内会	若緑町内会
西川上町内会	あかしや町内会

実施率 54.5% (6 / 11)

富岸小学校区

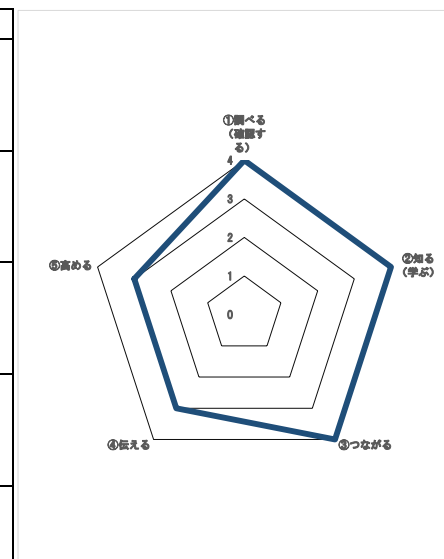
校区活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	住民座談会を開催することで、地域の現状把握及び取り組みについて確認できた。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	住民座談会の開催を行った。今後は、地域ニーズに合わせた研修等の開催も検討する。	4	継続して行う。新たな研修等の検討。
③つながる	委員会や住民座談会を通して、各関係機関との関わりを設けた。	3	継続して行う。
④伝える	昨年度同様、住民座談会は開催できたが、それ以外での活動できずなを広める機会が少なかった。	3	各関係機関も含めアプローチ方法等を検討する。
⑤高める	まだ基盤作りの段階であり、今後も継続して周知活動を行っていく必要がある。	3	継続して行う。



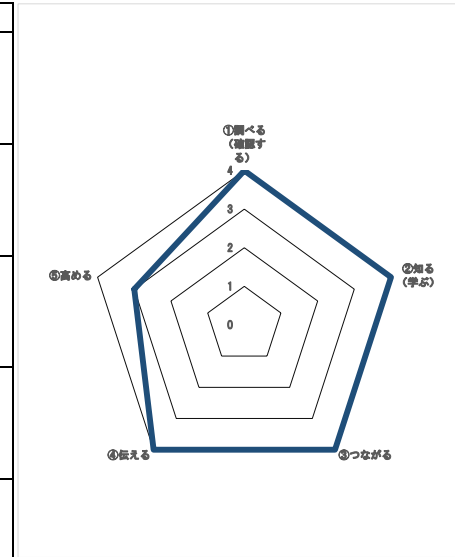
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動も含め、繋がりがづくりが出来てきている。	4	継続して行い、新規開拓を進める。
②知る (学ぶ)	住民座談会を通して、各地区の現状把握に努めた。	4	継続して行う。
③つながる	町内会、専門職等との連携は取れており、日頃からの見守り活動も行っている。	4	継続して行う。
④伝える	現状でも一定以上の成果は出ていると考えるが、今後も小地域ネットワーク活動の普及のため、各関係機関と連携を図っていく。	3	継続して行う。
⑤高める	各地区で概ね基盤づくりは出来ているが、連携や共有はさらに進めていく。	3	継続して行う。



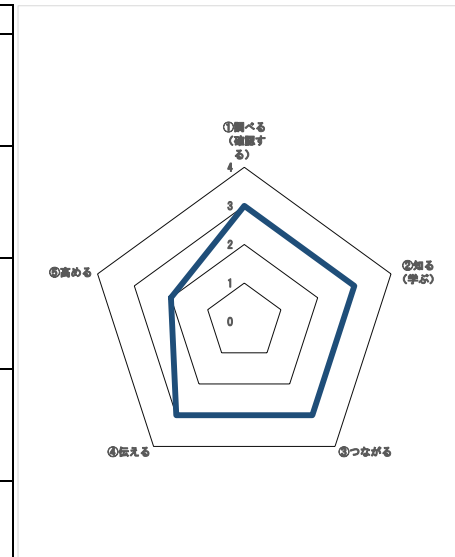
居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	既存サロンの活動は継続しており、各々がニーズ調査や意見交換も積極的に行っている。	4	継続して行う。
②知る (学ぶ)	各種研修会等には積極的に参加し、自己研鑽に努めている。	4	継続して行う。
③つながる	町内会活動と連動することで効率よく、地域ニーズ等の把握が出来る。	4	継続して行う。
④伝える	住民座談会の開催、小地域ネットワーク活動の実施、サロン活動等と多くの場面できずなを伝えることができた。	4	継続して行う。
⑤高める	地域の居場所として機能しているが、他地域との情報交換の場を設け、さらに機能を向上させたい。	3	他地域との繋がりを作る。



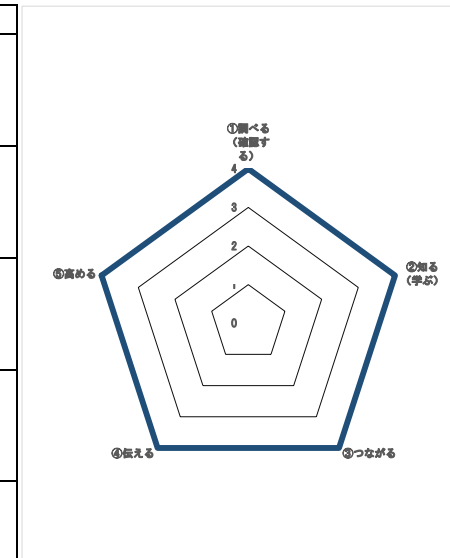
防災活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	各地区で定期的に避難訓練を実施しており、参加者の意識も高まっている。	3	継続して行う。若い世代へのアプローチも検討する。
②知る (学ぶ)	住民座談会をメインに、各地区での取り組みについて確認している。	3	継続して行う。
③つながる	住民座談会等を通して意見交換を行っており、今後も継続する。	3	継続して行う。
④伝える	各地区で参加状況や内容も異なるので、住民座談会等で情報交換を行う。	3	継続して行う。
⑤高める	町内会や委員の意識は高い。地域住民へのアプローチは推進委員や住民座談会で検討する必要がある。	2	継続して行う。



きずな安心キットの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	地区全体として概ね取り組めており、未加入へのアプローチも継続している。	4	今後は、利用者の現状把握及び継続支援が必要。
②知る (学ぶ)	各委員の安心キットの理解度も高く、十分に機能している。	4	継続して行う。
③つながる	対象者把握については行えている。住民座談会等を通して、専門職との繋がりも良好。	4	訪問活動を継続して、強化を図る。
④伝える	地区全体として、富岸地区の課題として各社へ周知を強化する必要がある。	4	継続して行う。
⑤高める	校区全体の課題として取り組んでいる。事例検討などの果有の場を設けることも検討する。	4	継続して行う。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	瀧川 正義	きずな推進委員	八重樫一男	きずな推進委員	山道 春秋
サブリーダー	袖山 功	きずな推進委員	小林 良郷	きずな推進委員	有野 國男
サブリーダー	工藤 保秋	きずな推進委員	中山 晃一	校区きずな推進委員	菊地 由三
きずな推進委員	筑野 栄子	きずな推進委員	亀山 秀一	校区きずな推進委員	合田 和彦

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月19日	第1回富岸小学校校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の内容について
3月19日	富岸小学校校区住民座談会	40名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) 意見交換「自身の住む町に今必要なこと・求められること」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

若葉町内会	新生町内会	新生町三丁目町会
富岸町内会	新生町2丁目町会	新生町望洋町内会
富浜町内会	新生北町内会	

実施率 72.7% (8 / 11)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあい・いきいきサロン

寿サロン	サロン「スマイル」	健康サロン・レインボー
スマイルサロン ドリーム	ふれあい会	元気サロン虹の会
いきいきサロン若葉	新生町2丁目町会いきいきサロン	新生きらきらサロン

ふれあい会食会

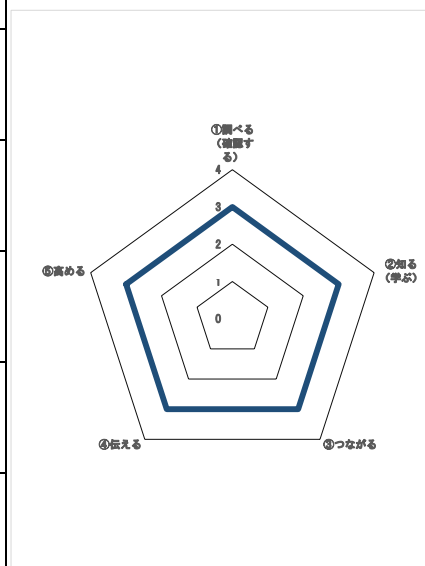
汐平町内会	富浜町内会	新生北町内会
若葉町内会	新生町内会	新生町三丁目町会
富岸町内会	新生町2丁目町会	新生町望洋町内会

実施率 81.8% (9 / 11)

若草小学校区

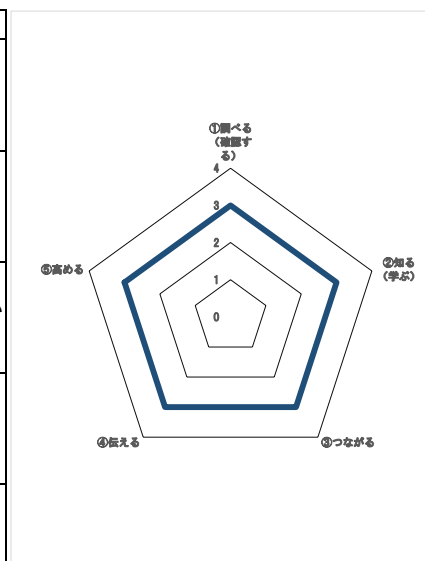
校区活動(きずな推進委員会、住民座談会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・住民座談会や校区推進委員会等の意見交換を通じた地域の状況を共有することができた。	3	・住民座談会や校区推進委員会で、普段関わることの少ない方にも参加してもらうことが必要。
②知る(学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会では、「外出困難な高齢・障がい者を支援するために必要なこと」をテーマに今後、校区で必要とされる支援について意見交換した。 ・意見の中では、「普段から関わりがある近隣の学校を巻き込んで授業の一環として取り組みを行う」といった意見があった。	3	・参加者同士実りのある意見交換を行えた。30年度は出た意見を参考に支援体制をカタチづくっていきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・校区内の実践者が、みなカフェ(特養わかさ)やちよこつと茶屋(コープさっぽろ)を通し、地域包括支援センターけいあいと現在も繋がっている。 また、一部の町内会では、「児童発達支援・放課後デイサービス とらい」と繋がっており、町内会の活動に「とらい」も参加しながら行っている。	3	・校区内の専門機関とも密に連携し、様々な機関を巻き込みながら推進していききたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか 住民座談会等を通してきずなを伝えることができたが、参加した人だけにとどまっている。	3	・今後も校区に浸透させていけるよう広く対象者が集まる場で周知を図る。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・きずな推進委員会や住民座談会を通して、地域の課題を共有し、解決に向けた意見を行うことで、福祉意識を高めることにつながっている。 ・住民座談会では、今後の福祉活動の参考となる意見がたくさん出た。	3	・普段、きずなに関わっていない人にも参加してもらえるように声をかけていきたい。



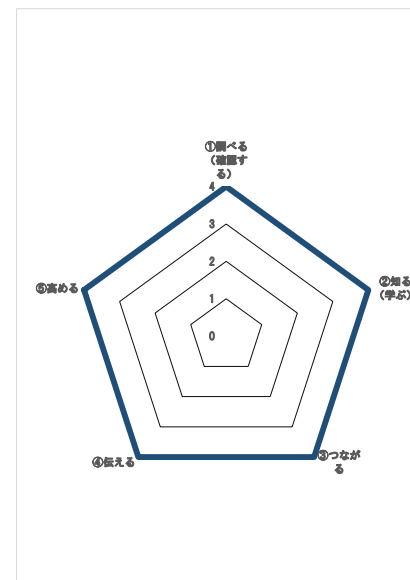
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・H29年度は、新規で1町内会が小地域の活動に参加した。よって、7町内会中6町内会が参加している状況である。	3	・H30年度は、全町内会が実施するよう小地域の推進を行っていききたい。
②知る(学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・住民座談会を通して、小地域の実施状況や目的などを参加者が学ぶことができた。	3	・H30年度も引き続き、推進委員会や座談会などで紹介していききたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・小地域を行うことで、日頃から顔繋ぎができています。	3	・実施町内会についても新しく見守りが必要な世帯が無い確認しながら推進していききたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・実施町内会で小地域の活動を説明する中できずなを伝えることができた。	3	・未実施町内会に対しても小地域の推進を行うと共にきずなの推進を行っていききたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・対象者と関わる中で、対象者が抱える課題なども見えてくる。 地域の中での課題把握を行う上でとても重要な活動となっている。	3	・H30年度も引き続き行っていききたい。



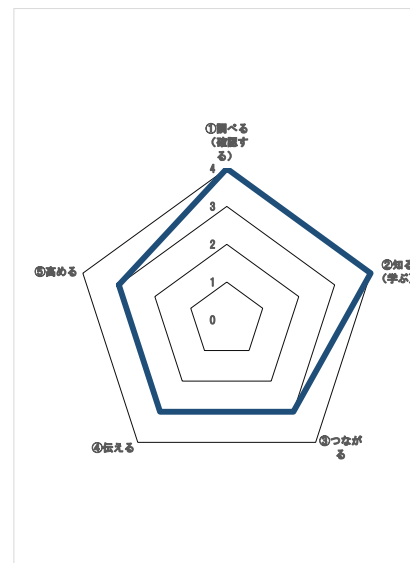
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・会食会は全町内会で実施。いきいきサロンは、既存のサロンで継続して活動している。	4	・地域の中で、気になる人をサロンに参加してもらえるよう活動していきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・各サロンを運営する中で、地域との関わりが少ない住民と関わることができた。 ・サロン活動の中で、参加者から普段の生活のお話を聞くことが出来ている。	4	・引き続き継続して行いたい。 ・他町内会の活動を共有する場を設け、相乗効果を図る。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・会食会を通して、地域で見守りが必要な高齢者と繋がることができた。 ・また、会場まで来れない方に、会食会のお弁当をお宅へ届けに行くことなどにより見守り活動に繋がっている。	4	・引き続き継続して行いたい。 ・サロンや会食会で発見した課題などを専門機関につなげていく。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・通常のサロン活動や会食会を通して、参加者に伝えることができた。	4	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・サロンや会食会を通じた見守り活動、場合によっては相談を聞くことも出来ている為、地域福祉をより良いものにする為には役割が大きい。	4	・引き続き継続して行いたい。



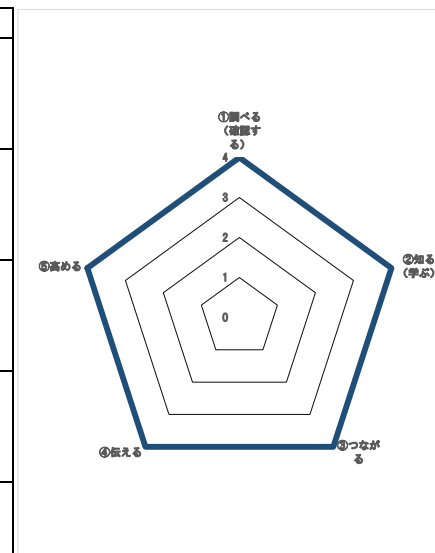
防災活動(普及啓発、避難訓練)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・避難訓練を通して、地域の防災意識の状況を確認することができた。	4	・普段、避難訓練や町内会行事に出ない住民に参加してもらえるように呼び掛け等を行なっていきたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・避難訓練を通して地域の防災意識を確認することが出来た。	4	・引き続き継続して行いたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・避難訓練等を通して住民同士の顔の繋がりが出来たが、毎年健康な人の参加が多かった。 ・今年は、一部の町内会の避難訓練に視力障がいの方にも参加してもらうことができた。	3	・障がいや高齢(要支援者など)の方にも積極的に参加してもらえるような取り組みや呼びかけを行なっていきたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・防災活動を通じた地域とのネットワークづくりを行なえた。	3	・引き続き継続して行いたい。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・避難訓練を実施することにより、地域住民同士の顔の繋がりが増えた。	3	・引き続き継続して行いたい。



高齢者支援(軽微な生活支援)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○校区の実態を確認することができたか ・鍵預かりサービス事業を通して地域の独居高齢者の状況を確認することができた。(利用者数4名)	4	・引き続き継続して行いたい。
②知る (学ぶ)	○知る・学ぶ機会を設けることができたか ・鍵預かり事業や住民座談会を通して地域の状況を確認することができた。	4	・住民座談会を通して話し合われた意見を参考に今後の活動に活かしていきたい。
③つながる	○関係する団体等との程度つながることができたか ・鍵預かりサービス事業を通して、特養わかさや民生委員などと連携して行うことができた。	4	・いざという時スムーズに行動できるよう備えたい。
④伝える	○どのくらいきずなを伝えることができたか ・鍵の預かり事業の協力者を通じて、利用者に対しきずな情報提供を図った。 ・住民座談会の中でも伝えることが出来た。	4	・町内会や老人クラブなどでPRを図る。
⑤高める	○地域をよりよくすることにつながったか ・独居高齢者のいざという時、また、鍵の預かりを通じた日頃の見守りが出来た為、この事業を行う役割は大きい。	4	・引き続き継続して行いたい。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	南 行雄	きずな推進委員	境 幸子	きずな推進委員	中島 康晴
サブリーダー	伊藤 秀男	きずな推進委員	星 康彦	校区きずな推進委員	伊藤 修二
サブリーダー	松川 陽子	きずな推進委員	堀川千恵子	校区きずな推進委員	相馬 眷三
きずな推進委員	森田 只志	きずな推進委員	植田 正子	校区きずな推進委員	長内 正二
きずな推進委員	高橋 正子	きずな推進委員	関 國男	校区きずな推進委員	西村 孝夫
きずな推進委員	西村美代子				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月21日	若草小学校区きずなリーダー・サブリーダー会議	4名	住民座談会の内容について
3月23日	若草小学校区住民座談会	21名	「きずな」とは 「助け合い」が必要な背景(高齢者編) 「のほりべつ」の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) 意見交換「外出困難な高齢・障がい者を支援するために必要なこと」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

若草町内会	旭ヶ丘町内会
若草第二町内会	美園町会
美園南町内会	桜ヶ丘町会

実施率 85.7% (6 / 7)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

若草町いきいきサロン	いちにのさん	みんなでいきいき
いきいきサロンM・K・P	美園町会いきいきサロン	ちょこっと茶屋の会
なかよしサロン		

ふれあい会食会

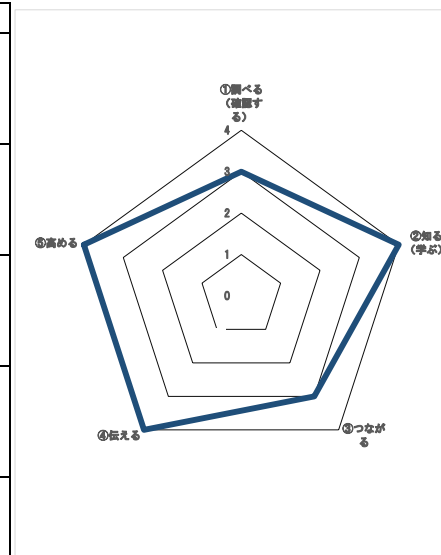
若草町内会	旭ヶ丘町内会	美不二町会
若草第二町内会	美園町会	桜ヶ丘町会
美園南町内会		

実施率 100.0% (7 / 7)

鷺別小学校区

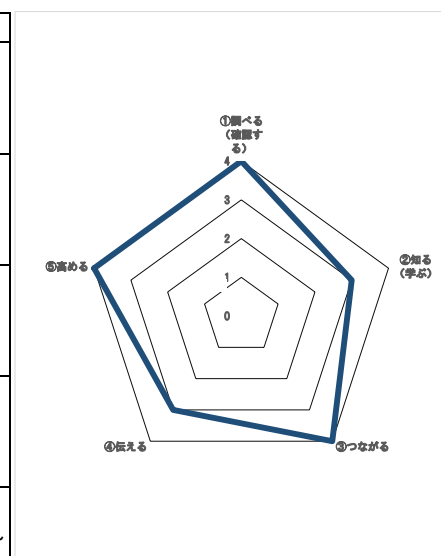
校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○校区推進委員会を正式に開催はしていなかったが、普段の活動で顔を合わせる機会(しゃべっ茶お等)で情報交換や検討を行うことができた。	3	○校区全体に関わる事項については、改めて校区推進委員会を開催し、委員全体で共有していく必要がある。
②知る(学ぶ)	○住民座談会の開催により、住民が校区のきずな活動について学ぶ機会を設けることができた。	4	○住民座談会の開催を通じ、地域活動を知ることのできる機会を設ける。
③つながる	○日頃の活動において、関係機関とも連携しながら進めていくことができた。	3	○関係機関との連携を通し、より良い活動の展開を目指す。
④伝える	○住民座談会の開催を通し、校区のきずな活動の内容や、どういった経緯・想いで活動を行っているかを伝えることができた。 また、チラシでの広報活動を通し、町内会へ校区活動を伝えることができた。	4	○今後もきずなの取り組みを伝えていく。
⑤高める	○推進委員会を校区に組織することで、より良い福祉活動を検討していくことができた。	4	○今後も推進委員での意見交換の場を設け、活動のより良い展開を目指す。



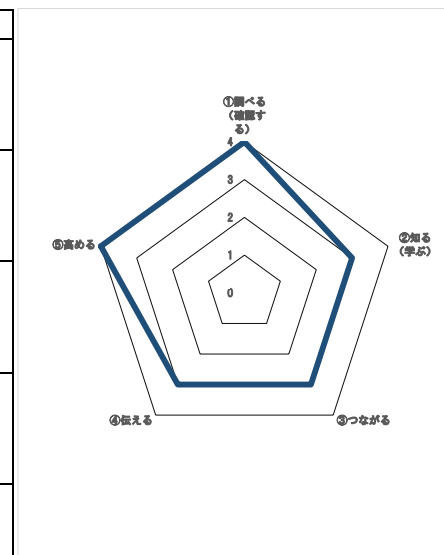
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○小地域ネットワーク活動の実施を通し、地域住民と関わりながら、情報把握を行うことができた。	4	○情報把握の手段としてキットを活用し、今後も地域のつながり作りを進めていく。
②知る(学ぶ)	○住民座談会の開催により、小地域ネットワーク活動についての学習の場を設けることができた。	3	○今後も活動について知ってもらう機会を設け、推進を目指していく。
③つながる	○小地域ネットワーク活動や子ども見守りたいの活動により、地域を見守り、つながりを生むことができた。	4	○今後も地域のつながりを図るため活動していく。
④伝える	○住民座談会の開催を通し、小地域ネットワーク活動の内容と、地域におけるつながりの必要性を伝えることができた。	3	○今後も活動について周知していく。
⑤高める	○地域住民に安心やつながりをもたらすことができた。	4	○平成30年度は校区の全町内会で小地域ネットワーク活動実施の意思が確認されており、今後も推進していく。



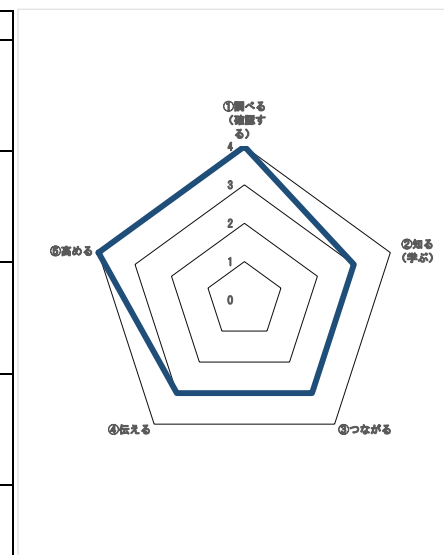
居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい・子育てサロン、ふれあい会食会)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○サロンやふれあい会食会の実施を通し、参加者や地域の実情を把握することができた。	4	○今後も地域の実情を把握する場としても意識し、実施していく。
②知る (学ぶ)	○サロンサポーター連絡会や、サロンでの講話等を通し、運営者も参加者も学びを得ることのできる場となった。	3	○今後も学びを深める機会としていく。
③つながる	○関係機関と連携しながら、サロン活動やふれあい会食会を行うことができた。	3	○関係機関とも連携しながら活動を行っていく。
④伝える	○住民座談会の開催により、サロン活動やふれあい会食会など地域に居場所があることの必要性を伝えることができた。	3	○今後も住民や関係機関に活動内容や、居場所の必要性を広く周知していく。
⑤高める	○ふれあい会食会の全町内会実施により、地域のつながりを深めることができた。	4	○今後も地域の居場所の機能として推進していく。



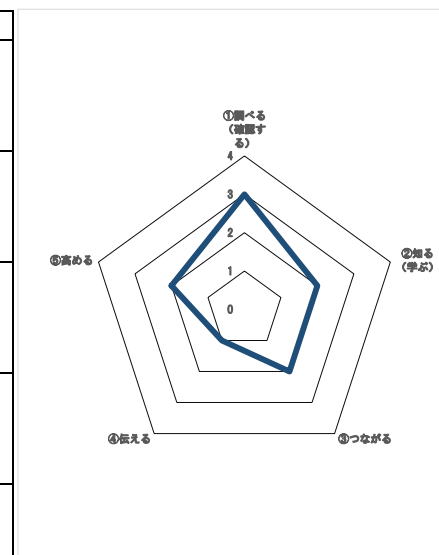
気軽に立ち寄れる地域の拠点づくり(しゃべっ茶お)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	○しゃべっ茶おの実施により、参加者やスタッフ間での地域の情報共有を図ることができた。	4	○今後も地域の情報把握の場としても進めていく。
②知る (学ぶ)	○専門機関からの講話等を通し、知識を深める機会となった。	3	○今後も運営者、利用者ともに知識を深めることのできる場としていく。
③つながる	○関係機関や各町内会の代表、民生委員が連携することができた。	3	○引き続き連携しながら実施していく。
④伝える	○チラシの回覧や、対象者への呼びかけ、住民座談会での活動紹介を通し、しゃべっ茶おについて住民へ周知することができた。	3	○今後も活動を広く校区に知ってもらうことを目指し、周知を行う。
⑤高める	○場所の移転についてや、毎回の活動内容の検討を行い、運営者全員でより良い活動を目指し検討を行うことができた。	4	○今後も課題について活動しながら検討を進め、より良い活動を目指す。



住民主体の買い物支援サービスの展開(住民主体の買い物支援サービス)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる(確認する)	○住民座談会の中でも、買い物支援の必要性についての声が聞かれ、実情を把握することができた場となった。	3	○地域の情報把握も行いながら、実施に向け検討を行う。
②知る(学ぶ)	○しゃべっ茶おの活動の中で、企業から説明を受け、移動販売について学びを深めた。	2	○実施に向け、地域全体で学び考えていく。
③つながる	○しゃべっ茶おの活動の中で、移動販売車の活用を視野に、企業とつながりながら実施を検討することができた。	2	○実施を検討するにあたっては、関係機関と連携しながら進めていく。
④伝える	○未実施	1	○実施にあたっては、広く住民や関係機関に周知を行う。
⑤高める	○地域課題の把握や、実施に向けての意見交換を行えたことで、事業実現に向けた意識を高めることができた。	2	○地域住民にとってより良い取り組みとなるよう、検討していく。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	池畠 泰彦	きずな推進委員	稲葉 雅幸	校区きずな推進委員	小林 靖親
サブリーダー	竹内 信子	きずな推進委員	須賀川信之	校区きずな推進委員	原田 敬三
サブリーダー	中原 義勝	きずな推進委員	伊藤 隆夫	校区きずな推進委員	柏木 修吉
きずな推進委員	雨洗 康江	きずな推進委員	岡本 政志	校区きずな推進委員	荒木 政博
きずな推進委員	川島 芳治	校区きずな推進委員	手塚 輝幸	校区きずな推進委員	小田 則子
きずな推進委員	村井美保子	校区きずな推進委員	佐々木 進	校区きずな推進委員	杉山 恵子
きずな推進委員	鈴木 信義				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
2月15日	鷺別小学校校区住民座談会	33名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「校区の福祉活動を進めるために必要なこと」

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ（小地域ネットワーク活動）

はまなす町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会
はまわし町内会	鷺別町4丁目町内会	

実施率 88.9% (8 / 9)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進（ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会）

ふれあい・いきいきサロン

ふれあい健康サロン	4丁目サロン	サロンあじさい
おいでやサロン	リビエールサロン鷺楽	かもめ
はまわしの会		

ふれあい会食会

はまなす町内会	鷺別1丁目町内会	鷺別町4丁目町内会
ありあけ町内会	鷺別2丁目町内会	鷺別町6丁目町内会
はまわし町内会	鷺別3丁目町内会	ひまわり町内会

実施率 100.0% (9 / 9)